



ICTスキルアップ講座

電子黒板活用研修

教育現場で ICT 教育の推進が叫ばれています。富士河口湖町でも昨年4年生以上の全教室に導入した電子黒板と書画カメラや今年度4年生から6年生に導入したデジタル教科書（算数と理科）を活用した授業がスタートしました。教育センターでは、教職員がそれらの機器を抵抗なく使用していくための研修会を5月13日に小立小学校で行いました。当日は、30名近い先生が4つのグループに分かれ、プロジェクターの設置からタッチペンの使い方など、基礎的な活用方法に関する実習を行いました。だんだん慣れてくると、マス目や罫線上に文字を書いたり、掛け図や地図を掲示しその上に文字や印を書くことができる操作をしたり、更にはデジタル教科書の使用の仕方へと進んで行きました。従来の黒板と電子



黒板を上手に活用し、学習効果を高めていきたいものです。教育センターでは、教室で役に立つ研修を目指し、これからもICT教育に関する研修会の実施を予定しています。先生方の希望をも取り入れながら研修内容を充実させていきたいと考えています。



デジタル教科書活用研修



5月26日（火）、上記研修会の第2弾として、河口小学校パソコン室において、デジタル教科書を有効に活用するための研修会を行いました。当日は東京書籍の田嶋さんに講師をお願いしました。まず講師から、デジタル教科書の内容や特徴また、基本的な操作方法について説明を受けました。紙の教科書にはない、部分を拡大する機能や、図形を移動させる機能、そして動画など、参加した先生方から驚きや納得の声が上がりました。限られた時間でしたが、その後それぞれが実際にデジタル教科書に触れながら研修を深めました。電子黒板やデジタル教科書を有効に使うことが、授業を楽しくし、子どもたちの学習意欲を喚起することは間違いありません。そのためにも効果的な利用について教師が研修を深めていくことが不可欠になります。今後より多くの先生方が気軽に参加できる研修を実施していく予定です。

